



耐久高等学校PTA会報

ほほえみ

編集発行：耐久高等学校PTA 発行責任者：井本勝美 発行日：令和元年7月16日
耐久高等学校 <https://www.taikyū-h.wakayama-c.ed.jp/>



▲3年生遠足



入学式▲



▲クラスマッチ

No.53



PTAの責務

PTA会長 井本 勝美

令和元年度のPTA会長を務めさせていただくことになりました井本と申します。

息子が耐久高等学校に入学し早や3年目を迎えました。私はこれまでの2年間、他の役員さんと共に副会長を務めさせていただき色々な経験や他の方々との交流を深めることが出来ました。今回、会長を引き受けることになり、その重責を感じております。また、前年度の会長に引き続き、和歌山県高等学校PTA連合会の理事も務める事になり、若干の不安とやりがいが入り混じった心境にあります。今年5月1日に平成から令和に改元されたこともあり、新たな気持ちで頑張っていきたいと思っております。

さて、情報化社会の現在、子供たちを取り巻く環境は、携帯電話（スマートフォン）の進化やSNSの発達により世界各国の人々といとも簡単に繋がりを持ったり、あらゆる情報を即座に入手出来ることは素晴らしい事だと思ふ反面、SNS等に依存してしまうことにより勉強が

疎かになったり、生活リズムを崩してしまい体調不良を起こすことや、また、不特定多数の人と繋がることにより犯罪に巻き込まれる可能性もあり子供たちにとっては、良くも悪くもある時代と言えるでしょう。高校生とは言え、このような時代に育つ子供たちを見守る義務が保護者にあります。

私達PTA本部役員と評議員とが、教職員と保護者との懸け橋となる事で今以上に意見交換や情報の共有ができる環境を作る事が出来ると感じています。もっともっと多くの保護者に学校行事に参加していただけるよう取り組んでいきたいと思ひます。

教職員をはじめ他の保護者との交流も深められ繋がりがも広がることでしょう。

また、保護者の方も積極的に学校行事に参加し、子供や学校の事を理解しなければいけないと認識していただければと思います。

何かと至らない点多々あるかと思ひますが1年間よろしくお願ひ致します。



「耐久」の今を伝える

学校長 笹井 晋吾

さわやかな新緑の季節も東の間、早くも夏本番を迎えようとしています。この1学期の間、生徒たちは勉強やクラブ活動、学校行事にと全力で取り組み、忙しくも充実した日々を過ごしてきました。

6月の高校総体ではバドミントン部のインターハイ出場をはじめ、多くのクラブが入賞を果たし、文化部でも囲碁将棋、マンドリン部が全国大会出場を決めるなど、活気を見せています。私も期間中、各会場に応援に向きましましたが、耐久生がひたむきに頑張る姿に感動を覚えるとともに、その成長ぶりから今後に大きな期待を寄せているところです。

さて、高校生活は3年間という限られた時間であるだけに、楽しく充実した生活を送ることが大切です。しかし、それだけでは十分ではありません。自分の希望進路が叶うよう日々効率よく学習し、学校での経験を将来に生かす必要があります。つまり、卒業時に「耐久でよく頑張れた」という気持ちで湧き上がってこなければ、意義ある高校生生活とは言えません。

本校では、学校行事等でも

「学びの側面」を大切にしています。過日行われたクラスマッチでは各学年とも大いに盛り上がり、クラスの団結を強めました。ここでも生徒たちはコミュニケーションやリーダーシップの大切さを学びました。これと同様、秋の文化祭や体育大会、ロングハイキングなどでも生徒たちが主体的に取り組む態度をさらに育成したいと考えています。

一方、ポランテアにおいても昨年「世界津波の日高校生サミット」で多くの生徒が活躍したことは記憶に新しいところです。耐久生のもつ進取の気性は素晴らしく、今後の大きな飛躍につながるものと確信しています。

今、本校では「学校改革の第2ステージ」と称して新たな取り組みを進めています。今年度はクラブ活動や学校行事に加え、学習面においても改善を加えています。中でも、日頃の頑張りが適切な評価につながるよう、現1年生から単位修得の合格ラインを修正しました。そして「子どもたちをしっかりと鍛え育てる」というスタンスは維持しながらも、学習に主体的に取り組める場面を数多く作り出せるよう工夫を加えながら、

「生徒の成長に何が有効なのか」について常に議論を行っています。一方で、国が進める高校普通科や入試制度の改革についても、どのタイミングで、どのような支援を行うべきかをしっかりと見極め、検討を加えています。

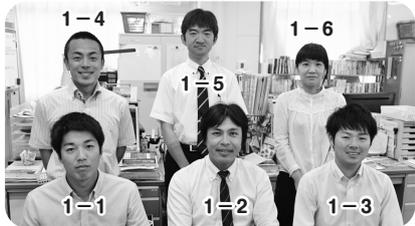
さて、今年度、本校は文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の地域協働推進校（アソシエイト）の認定を受け、地域と連携して課題の解決に取り組むことになりました。グローバル化が一層進む時代であるからこそ、私たちは「ふるさと和歌山」を大切にする必要があります。本校は、学校を地域に開くとともに、生徒たちが実社会に目を向け、フィールドワークを通じて地域の課題を発見し、その解決を目指すという探究的な学習を取り入れることで、将来に必要な行動力や表現力を高め、ひいては地元へ貢献できる人材を育成していきます。

折しも来年度は、創設者である濱口梧陵の生誕200年を迎えます。耐久生として誇り高く生きることを意識させつつ、具体的な取り組みを展開して本校の魅力を訴求してまいります。保護者並びに同窓会、地域の皆様方のご協力を得ながら、さらなる本校の飛躍と発展につながりますようご支援をよろしくお願ひ致します。

1学年の指導・取り組みについて

1学年主任 湯田良英

高校生活がスタートしてから早いもので3ヶ月が過ぎました。入学式以降、各種オリエンテーション、対面式、遠足、クラスマッチなど行事が盛りだくさんでした。生徒たちは、学校生活に慣れ、多少余裕が出てきたところですよ。



1-4 上田 秀人 (地歴・公民) 1-5 岡本 剛典 (英語) 1-6 深渡 直子 (家庭) 1-1 石井 雄太 (英語) 1-2 中本 学 (英語) 1-3 玉置 将人 (地歴・公民)

高校生活は、自分の存在を意識し、人生の意味や生き方について考える最もかけがえのない時期です。一言で言えば、「一人の人間としての自立を目指す時期」です。自立というのは、何事にも自分から積極的に、主体的に立ち向かうことです。今年度の学年目標として「基礎学力の定着」「基本的な生活習慣の確立」「自ら学び、充実した高校生活を送る」を掲げています。

自立するためにはまず知識が必要です。知識というものは、自分の中で改めて構築し直し、理解することによって、はじめて自分の本当の「考える力」となります。主体性が必要なのです。同じことが、クラブ活動、生徒会活動、学校行事にもいえます。また、学習を離れた所で、友人の人間性に触れ、互いに切磋琢磨することは、人間の成長に大きな影響を与えます。

私たち学年団は、耐久高校の生徒として、「一人の人間」としてしっかりと育てていきたいと考えております。保護者の皆様のご理解のもと、ご協力いただきながら、高校生活が充実したものとできるよう、社会に出ても活躍できる人間に成長できるよう、全力でサポートしていきます。そして、生徒はもちろん、保護者の皆様からも「耐久高校に入学して良かった」と思っていたただけるように努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

保護者からの一言 1年副学年長 竹中滋基

耐久高校に入学させて頂き、3ヶ月が経ちました。新しい環境にも慣れ、勉強やクラブ活動に充実した学校生活を過ごしている様に見える。

入学当初、初めて高校生の子を持つ親としましては、我が子が耐久高校でやっているのかと心配しましたが、PTA総会で先生方から授業、勉強に対する方針や進路に向けての考え方、学校行事、クラブ活動の取り組み方など丁寧に説明頂き、学校をあげて子供達の為に考えて頂いている事が良く分かり、大変安心致しました。又、学校の雰囲気からか学習に対する意識が向上してきているように感じられ、嬉しく思っています。

高校生活の3年間はどのように過ごすかによって、これからの人生に大きく影響を与える大事な時期だと思います。勉強は元より、クラブ活動や学校行事を通して様々な事にチャレンジし、今しか出来ない経験を重ねる成長を願っています。

2学年の指導・取り組みについて

2学年主任 森千佐子

第2学年がスタートし、4月25日マラソン学習会、26日遠足、5月23日クラスマッチと学校行事を終えるごとに、クラスの団結力が強まり、親睦も深まっているようです。さらに7月24日にはPTAにもご後援いただき、大阪で行われる「夢ナビライブ2019」に参加します。これを機に子どもたちの進路意識が向上することを期待しています。



2-4 井畑 直樹 (理科) 2-5 谷口 宏紀 (保健体育) 2-1 森 千佐子 (英語) 2-2 中上 大 (保健体育) 2-3 谷 麻衣子 (国語)

さて、中間考査が終了しましたが、教科の学習内容も1年生と比べて格段に難しくなっています。そのような中、学習内容の理解や、提出物、小テストなどに対して、なかなか自分のペースがつかめないこともあるようです。しかし、四苦八苦し、試行錯誤を繰り返しながら、自分に合った学習スタイルを確立していったほしいと願っています。また、第2学年は、学校でも中核的な役割を担う学年です。現在は13名が生徒会活動に参加しています。今後は文化祭、体育大会など学校行事への主体的な参加を通して一人一人が成長し、よりよい学校づくりに貢献していただけるよう学年全体で応援したいと考えています。

今年の学年目標は「自主自律」です。自発的に自分自身で考えて行動し、自分自身の規範に従って己を律する姿勢の涵養を願っています。

保護者からの一言 2年副学年長 山本里佳

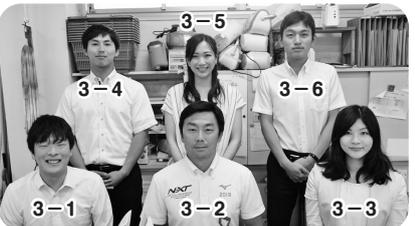
早いものでもう2年生です。入学当初はどことなく不安げで頼りなく見えました。今では見違えるほどたくましくなりました。よき仲間、熱意をもってご指導してください。先生方のおかげと日々感謝しております。

新たな学年となり、新しい自分を発見するチャンスでもあります。勉強はもちろん、クラブ活動や学校行事を通して得たものは、これからの生き方、考え方に大きく影響してくると思います。多感なこの時期に心身ともにフル稼働して失敗をおそれずに様々なことにチャレンジする積極的な日々を送ってほしいと願っています。将来自分がどうなりたいのか、自ら考え行動する力を付けてほしいです。

3学年の指導・取り組みについて

3学年主任 柏原政孝

いよいよ最終学年がスタートしました。この3ヶ月間、生徒は部活動や学校行事に力を入れながらも授業に集中し、学校生活にメリハリをつけて取り組んできました。受験への意識も高まり、放課後に学習舎や学習スペースで学習する生徒も増えています。部活動を引退した生徒は、今まで部活動に集中していた時間を学習の時間に上手に切り替えています。また、自決などを通して、生徒は自分の目標と今の自分の実力の差を確認し、その差を埋めるためには、いつまでに何をすべきかを考え学習を始めています。行動に表れていなくても、生徒は受験のプレッシャーを感じています。ご家庭では生徒の学習環境を整える手助けをしていただくようお願いいたします。また、「早く受験勉強を終わらせてあげたい」という思いから安易な進路選択を勧めるのではなく、生徒の意思を尊重し学校と連携しながら最後まで見守っていただけたらと思います。3月には笑顔で卒業式を迎えられるよう、学年団一同、全力でサポートさせていただきます。



3-5 前山 友佑 (理科) 3-6 宮田 菜美香 (音楽) 3-1 松山 貴裕 (英語) 3-2 酒井 環 (地歴・公民) 3-3 嶋本 佑輝 (数学) 3-4 花本 麻冬 (国語)

保護者からの一言 3年副学年長 山野真季

3年生にとって残り1年をきった高校生活で、楽しみにしている行事といえは、最後の文化祭、体育祭くらいなものでしょうか。小さい頃からクラスや学年単位で一つになって頑張る事を当たり前のようにしてきましたが、それも最後となる人がほとんどだと思います。そういう意味でも「一丸となって頑張る」という事を大いに楽しんでもらいたいものです。

また、3年生にとってこれまでに一番大きな岐路に立つ年でもあります。たくさんの選択肢の中で、何を選びどう進んでいくのか、大きな決断をしなければなりません。色々迷い、悩むと思いますが、失敗を恐れずにチャレンジして欲しいと思います。親としても、子供達の成長をハラハラ・ドキドキ・ワクワクしながら、最後まで応援していきたいです。

PTA & 学校の活動

月	日	曜日	事業名	場所	
4	3	水	会計監査	小会議室 4	
	8	月	始業式、入学式	体育館	
	10	水	新旧本部役員会	応接室	
	18	木	3学年懇談会	会議室	
	24	水	第1回役員会	会議室	
5	16	木	和歌山県高等学校PTA連合会理事会	和歌山県民文化会館	
	17	金	定期総会・分野別セッション・学級懇談会・役員懇親会	体育館・HR教室	
	28	火	第1回総務部会	生徒ホール	
6	30	木	情報セキュリティ講座(学校)	体育館	
	8	土	和歌山県高等学校PTA連合会定期総会	和歌山県民文化会館	
	20	木	第2回総務部会	生徒ホール	
7	26	水	第1回本部役員会	応接室	
	1	月	教科書選考委員会	応接室	
	4	木	第3回総務部会	生徒ホール	
	6	土	第45回近畿高P連和歌山大会	和歌山県民文化会館	
	9	火	第1回進路部会	応接室	
	16	火	PTA会報「ほほえみ」第53号発行		
	19	金	一学期終業式	体育館	
	19-23	金火	三者面談	HR教室	
	24	水	夢ナビライブ2019(大学進学ガイダンス)	大阪市	
	25	木	本部役員②、各学年長・副学年長、各専門部長・副部長合同会議	生徒ホール	
	31	水	第1回特別部会	生徒ホール	
	8	22-23	木金	全国高P連京都大会	京都市
		26	月	二期始業式	体育館
28		水	芸術鑑賞会	有田市民会館 紀文ホール	
下旬			第2回特別部会	生徒ホール	
9	上旬		第1回人権健全育成部会	生徒ホール	
	土		人権教育地方別研修会(県教委)		
	10	火	第2回進路部会	応接室	
	中旬		本部役員③、各学年長・副学年長合同会議	生徒ホール	
	17-19	火木	耐久祭(文化祭)		
	17	火	特別部会・役員 耐久祭バザー 提供品仕分け	武道館	
10	18	水	耐久祭(文化祭)PTAバザー・PTAカフェ	生徒ホール・武道館西面	
	20	金	体育大会	運動場	
	下旬		1学年懇談会	会議室	
	下旬		2学年懇談会	会議室	
			和歌山県高等学校PTA連合会理事会	和歌山県民文化会館	
11	1	火	街頭指導・第2回人権健全育成部会	学校校内・校外	
	中旬		第4回総務部会	生徒ホール	
	19	土	学校説明会	体育館	
	下旬		第4回本部役員会	応接室	
11	1-30	金土	「きのくに学び月間」学校開放月間		
	上旬		第2回役員会	会議室	
	中旬		第5回総務部会	生徒ホール	
	下旬		第3回特別部会	生徒ホール	
			PTA進路講演会	会議室	
		(県)高P連第3ブロック指導者研修会	有田中央高校		

令和元年度 PTA役員体制

PTA本部役員				◎学年長			
学年組	役職名	氏名	専門部	学年組	役職名	氏名	専門部
3-6	会長(新)	井本 勝美	会長	1-4	副会長(新)	境 淳子	総務部
3-4	副会長	谷山 光宏	人権健全	1-6	副会長(新)	橋本 恵美	人権健全
3-5	副会長	◎川神 祐之	進路部	3-2	会計	牛居 靖代	総務部
2-1	副会長	竹中 幸生	進路部		会計	小嶋真理子	
2-4	副会長	◎上野山義英	総務部				
2-5	副会長	松岡真規子	総務部	3-5	会計監査	総田 昌子	進路部
1-3	副会長(新)	◎岡本 光平	進路部	2-2	会計監査	平井 泰子	進路部

総務部	◎部長 ○副部長		
	評 議 員		
	1 年	2 年	3 年
本部役員	片畑 淳 (2)	大江 裕子 (1)	栖井 義人 (1)
上野山義英	谷口 薫 (2)	◎小谷 和久 (3)	田中美 弥子 (1)
松岡真規子	坂下扶美世 (3)	難賀 裕子 (3)	山崎 浩司 (1)
境 淳子	岡本 和明 (4)	碓 淳子 (3)	笠松 一子 (2)
牛居 靖代	◎松尾 浩一 (4)	東村 望 (3)	藤岡 雅浩 (2.6)
教 職 員	南畑 喜則 (4)	山添 浩伸 (4)	山野 真季 (2)
中 啓紀	石井 陽子 (5)		宮井 宏晃 (5)
白井 敏之	喜多貴美子 (5)		大西 諭加 (6)
田中 達			
井畑 直樹			
深渡 直子			

特別部	◎部長 ○副部長			
	評 議 員			
	1 年	2 年	3 年	
本部役員	井本 勝美	竹中 滋基 (2)	上辻佳世子 (2)	辻 純子 (1)
谷山 光宏	玉置 祐子 (2)	井戸端和美 (3)	上門 孝年 (3)	
川神 祐之	松尾 功子 (3)	坂口有美子 (4)	井上 千佳 (4)	
竹中 幸生	◎柳谷 恵里 (3)	◎井上 泰徳 (5)	竹井 輝美 (4)	
上野山義英	木村 亜湖 (6)	佐原 弘記 (5)	江川 弥生 (6)	
松岡真規子		谷畑 博敏 (5)	則松 敏文 (6)	
岡本 光平				
境 淳子				
橋本 恵美				
牛居 靖代				
教 職 員				
岸山 裕之				
片山 隆博				

進路部	◎部長 ○副部長			
	評 議 員			
	1 年	2 年	3 年	
本部役員	川神 祐之	濱井 勇紀 (4)	平井 泰子 (2)	黒田 有香 (3)
竹中 幸生	則藤 陽子 (5)	藤田 友智 (2)	花村 志磨 (3)	
岡本 光平	大倉 隆安 (6)	山本 勝二 (2)	総田 昌子 (5)	
教 職 員	◎酒井 珠微 (6)	◎若林 康樹 (2)	中出 輝美 (5)	
		永屋 雅司 (3)	仲西 和子 (5)	
後藤 真吾				
柏原 政孝				
森 千佐子				

人権健全育成部	◎部長 ○副部長			
	評 議 員			
	1 年	2 年	3 年	
本部役員	谷山 光宏	平岡 友美 (1)	竹中 淳 (1)	倭 有紀子 (1)
橋本 恵美	◎栗生 千穂 (2)	大松 真理 (2)	神南 幸恵 (3)	
教 職 員	鶴岡 千晴 (4)	山本 利弘 (2)	児島 智子 (5)	
	笠谷 修一 (5)	川乗さつき (4)	高垣由加里 (5)	
兵衛 和樹	伊集院泰子 (6)	◎杉本 恵章 (4)	斯波 美佳 (6)	
湯田 良英		青石真規子 (5)	中本 京子 (6)	



PTA専門部活動(総務部)



PTA新本部役員

令和元年度 P T A 総会 ポスターセッション

5月17日（金）保護者93名が出席して、定期総会が開催されました。今年度も、三部構成とし、まず、午後2時から体育館において定期総会議事を、続いて、3分掌（教務・進路・生徒支援）のポスターセッションが20分のローテーションで催されました。第三部は、各教室で学級懇談会が行われました。



教務部セッションに参加して 1年保護者 岡本 和明

20分間という短い時間でしたが、将来の教育改革を見据えた、耐久高校ならではの指導方法、取り組みについて説明をしていただきました。

授業時間は長めの65分間。単に時間を延ばし、漫然と授業をこなすのではなく、生徒が飽きずに集中して学ぶことに興味をもてる様、様々な努力と工夫を重ねていただいていること。実際、息子からも「楽しい授業がある。」と聞きました。そして、小テスト、課題の提出などを適切なバランスで出すことによって生徒ひとりひとりが主体性を持ち、家庭での学習習慣をきちんと身に付けることで

成績の向上につなげる。さらに個々の得意なことや能力を見出し、それをしっかりと伸ばすことを目的とした学習計画に基づき指導を行うことで確実に結果を出していることを聞かせていただきました。子供達の高校生活の充実を期待し、家庭でもしっかりと声を掛け、見守りたいと思いました。

進路指導部セッションに参加して

1年保護者 木村 亜湖

進路指導部では、卒業後、将来どのような道に進みたいかをできるだけ早く決めることが大切とのことでした。早く決めることでそれにあった目標に向かって進学先や就職先を考えることができます。

学年があがるにつれ科目の選択も先の進路にあったものにしていかなければいけません。

これから大学入試の形態も変わっていくとのこと。先生方もいろんな情報を集めてくれ、対応してってくれるので、安心しておまかせし、目標に向かって頑張ってもらいたいです。いろいろ難しいことばかりですが、先生方にご指導いただきながら、家庭でも将来の事を話し、できるだけ協力していきたいと思えます。

過去4年間の進路状況

	平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			平成31年 3月卒業生		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
国公立大	2	3	5	3	8	11	12	6	18	11	9	20	11	9	20
私立大	56	47	103	61	30	91	40	30	70	48	33	81	47	49	96
短大	0	30	30	4	25	29	1	22	23	1	20	21	3	14	17
専修各種	27	55	82	34	36	70	26	28	54	19	27	46	14	24	38
公務員	1	1	2	4	0	4	5	2	7	1	1	2	4	0	4
就職	15	6	21	12	12	24	8	5	13	10	8	18	11	5	16
その他	13	11	24	1	0	1	2	3	5	2	2	4	3	3	6
合計	114	153	267	119	111	230	94	96	190	92	100	192	93	104	197



生徒支援部セッションに参加して 3年保護者 川神 朱実

今年は、クラブ活動と学校行事について説明して頂きました。一昨年と昨年はクラブ活動のお話を中心でしたので、今回新たに学校行事内容を詳しく知ることができて、よかったです。「目的と意図を生徒に伝えながら進めていきたい」という趣旨に沿って、昨年からは生徒討論会が実施されています。生徒には、聞く・話す・考える力を養ってもらい、コミュニケーション能力が身に付くことが期待されます。また、今年から実施月が変更される行事として、クラスマッチ（9月→5月）、文化祭（6月→9月）があります。クラスマッチで団結力を高めた生徒たちが、文化祭で例年以上の素晴らしい発表をしてくれることを楽しみにしています。

子供たちが勉強とクラブ活動に励み、学校行事を通して多くの経験を積み重ねていることが伝わるポスターセッションでした。

PTA研修旅行に 参加して

評議員 佐原 弘記

2月2日(土)にPTA研修旅行に初めて参加させていただきました。座禅と写経を体験するために京都南禅寺に行きました。はじめに南禅寺三門に上りました。急な階段を上ると街並みが一望でき歌舞伎の名台詞が有名なのも納得できました。昼食では、名物の湯豆腐をおいしくいただきました。

午後から、南禅寺禅センター光雲寺で座禅と写経を体験しました。私は座禅体験は二度目だったので、今回初めて警策をいただきました。警策は、前後に合掌低頭してからいただきます。大きな音の割にあまり痛さを感じませんでした。写経は般若心経を写したのですが、見慣れない漢字の連続で時間内に完成できるように、頑張って写経しました。備え付けの筆ペンが、書き易かったのが好評でした。参加された皆さんと交流でき楽しい一日となりました。



第45回近畿地区高等学校PTA 連合会大会和歌山大会に参加して

副会長 松岡 眞規子

7月6日(土)和歌山県民文化会館にて、近畿地区高等学校PTA連合会大会が開催されました。今回は和歌山大会ということで、私達は揃いのTシャツを着て、近畿各地からお越しのPTAの皆さんを県民文化会館周辺でお出迎えしました。小雨降る中、たくさんの方が参加されました。今大会は「家庭での子供とのコミュニケーションの大切さ」をテーマに、記念講演やパネルディスカッションが行われました。

コミュニケーションは家庭や学校、社会で生活して行く中でとても重要なことですが、それは父親と母親それぞれが子供に対して違うように、相手が違えば方法も難しいものです。大切なのは、一方的にならないこと。何事も心を込めて相手の話を聞き、理解した上で物事の方向性を決めること。何事も出来ないといふ環境を作り、最後までやりぬく、見とどける。そして心から褒める、心から喜ぶ関係を築く。子育てだけでなく、社会で生きていく中でも大切なことだと感じ、改めてコミュニケーションの在り方を考えさせられる講演とディスカッションでした。



教育実習 (5月20日～6月7日)

今年度、本校に3名の教育実習生がやってきました。「母校耐久」での教育実習についてコメントをいただきました。

教育実習生として受け入れて下さった先生方には感謝しています。私は数学を担当しており、授業を通して全員の生徒とは関わることがありませんでした。でも廊下ですれ違ったりすると挨拶をしてくれたり、母校で実習ができてよかったと実感します。実習中に学んだ一つ一つは、将来教師として教壇に立つ時はずっとより、一人の社会人として働いていく上で大切なことを学ぶことができたと思います。

田中千菜津 (美術科)

3年前に卒業した母校に再び戻って来ることができて、一足早く同窓会に来たような懐かしい気持ちでいっぱいです。私の担当教科は美術なので生徒全員と関わることはできませんが、耐久高校の生徒はとても温かく素直だと感じています。教員を目指す上でのことだけでなく、これから先、人生の糧になるであろう様々なことを学ばせていただいております。生徒の皆さんや先生方にはとても感謝しています。

上平 裕大 (保健体育科)

教員を目指すために耐久高等学校へ教育実習生として戻ってきました。保健体育の教師として勉強させていただき、生徒との関わりや学校内の仕事を体験し、少しでも成長できればと頑張っています。最初は不安が大きくて生徒の前では緊張して声が思うように出ませんでした。しかし、生徒たちとコミュニケーションをとることで、授業が進めやすくなっていました。「人と会話する」ことは、大切なことだと再認識しました。



左から 上平(体育科)・田中(美術科)・中西(数学科)

クラブ活動の記録 令和元年度6月末まで

【体育クラブ】

★陸上競技部

「和歌山県高等学校陸上競技対校選手権大会」
女子やり投げ 第6位 湯川瑠美(3-6)(近畿大会出場)

★軟式野球部

「春季近畿地区高等学校軟式野球大会 和歌山県予選」
準優勝

★ソフトテニス部

「和歌山県高等学校総合体育大会」
兼「和歌山県高等学校選手権大会」
男子団体 第5位 (近畿大会出場)



★バドミントン部

「和歌山県高等学校総合体育大会」
男子団体 優勝 (全国大会出場)
男子ダブルス 優勝 柏木 颯(3-3)・岩橋稜典(3-6)組 (全国大会出場)

第3位 保井優志(3-1)・下村佳生(2-1)

男子シングルス 優勝 岩橋稜典(3-6)(全国大会出場)

準優勝 柏木 颯(3-3)(全国大会出場)

第3位 下村佳生(2-1)

女子団体 優勝 (全国大会出場)

女子ダブルス 準優勝 有木雪乃(2-2)・浦上路望(2-4)組 (全国大会出場)

第3位 江川陽菜(3-6)・尾原美咲(2-2)

岩本渉里(3-1)・藤井もも(2-2)

女子シングルス 優勝 江川陽菜(3-6)(全国大会出場)

第3位 岩本渉里(3-1)

★空手道部

「和歌山県高等学校総合体育大会」
男子団体組手 第3位
男子個人組手 第5位 則松昇汰(3-6)
女子個人組手 第3位 広岡真実(1-6)

★剣道部

「和歌山県高等学校総合体育大会」
女子個人 第5位 橋爪佑委(1-5)

★水上競技部

「和歌山県高等学校選手権大会」
水球部門 男子 準優勝
「和歌山県高等学校総合体育大会」
水球競技 男子 準優勝 (近畿大会出場)

【文化クラブ】

★囲碁・将棋部

「全国高等学校囲碁選手権大会和歌山県大会」
個人戦 優勝 田中 歩(1-6)(全国大会出場)
団体戦 優勝 主将 田中 歩(1-6)(全国大会出場)
副将 井戸端瑠(2-3)
三将 鳥居剛至(3-4)
「和歌山県高等学校将棋選手権夏季大会」
個人戦 第6位 鳥居剛至(3-4)(近畿総文祭出場)

校内顕彰

★スポーツテスト

1年男子 第1位 有本海風(1-1) 川合悠翔(1-4)
女子 第1位 寒川七彩(1-1)
2年男子 第1位 森川照太(2-4) 女子 第1位 川乗沙也花(2-4)
3年男子 第1位 田中優斗(3-5) 女子 第1位 江川陽菜(3-6)

★第1回スタディーサポート

1年総合 第1位 中さくら(1-6) 国語 第1位 中さくら(1-6)
数学 第1位 小原良輝(1-6) 英語 第1位 青木 健(1-5)
2年総合 第1位 宮井玲奈(2-5) 国語 第1位 福本美雨(2-5)
数学 第1位 川口大輝(2-5) 英語 第1位 青石百加(2-5)

★進研 総合学力記述模試 4月

5教科文系 第1位 中本柚希(3-6)
5教科理系 第1位 谷畑佑典(3-4)
国数英総合 第1位 喜多遥香(3-5)
国語 第1位 総田小夏(3-5) 数学X 第1位 喜多遥香(3-5)
数学Y 第1位 高垣寅泰(3-5) 英語 第1位 中本柚希(3-6)

文武両道がんばれ!! 保護者からのエール Part 9

小学生から始めたバドミントンも10年になりました。高校に入ってからからは、練習で疲れて帰って来て、毎日小テストなどの勉強に追われる姿を見守る中、3年間やっていけるのかなと心配したこともありましたが、親の心配をよそに、本当によく勉強も頑張り、部活も頑張ってきたと思います。今では大会でしかバドミントンをしていない姿を見ることはありませんでしたが、毎日練習を頑張ってきたんだという精神面の成長と、バドミントンに対する技術面以外での考え方や周りに対する想いというところで今までと変わったなと思うところがたくさんあります。それは、本人の努力だけではなく、熱心に指導してくださる方々や可愛がってくれた先輩達、そして、共に頑張ってきた仲間がいたからだと思います。先日のお大会で、今年は団体戦でもインターハイに行けることが決まりました。最後に仲間と一緒に大舞台で戦えることに感謝し、自分達の力を出してほしいと思います。バドミントンを続けてきたことで、他県にもたくさん友達が出来ました。人と人とのつながりを大切にし、高校での頑張ってきたことを糧に『これから』を進んでいってほしいと思います。

*英語部

山添美紀(2-4)



*バドミントン部

江川 弥生(3-6)



遠足

4月26日(金)

集団行動や公衆道徳を身につけクラスの親睦を図るため、今年も学年別遠足が実施されました。3年生は南紀白浜各方面へのクラス別バス遠足。2年生は神戸大学訪問と神戸市内観光。1年生は湯浅町から宮原町までの熊野古道約7キロを歩き、有田川の河川敷へ。恵まれた晴天の下、生徒たちも先生方も互いに親睦を深めました。



▶ 1年生



▶ 2年生



▶ 3年生



NHKのど自慢

6月9日(日) TV生放送
(12:15~13:00)

森本鈴さん 優勝おめでとう!!



ほんの軽い気持ちで応募した一枚のハガキが、まさかこんなことになるとは思っていませんでした。今は「大変なことをやらかしてしまった」というのが正直な気持ちです。耐久高校の制服を着てテレビ出演させてもらったことは本当にありがたいことです。すばらしい経験と一生の思い出をいただいたことに感謝いたします。

3年3組 森本鈴

クラスマッチ

5月23日(木)

私達にとって高校生活最後のクラスマッチがありました。最後なので、みんなで勝って笑顔で終わりたいという気持ちが強くありました。試合に出場する人も、応援する人も同じ目標に向かって一丸となることができました。あの時のみんなの表情や熱気は忘れることができません。結果として、自分達のクラスは優勝することができたので嬉しかったです。それ以上にクラスの絆を深めることができたことがなにより良かったです。

3年6組体育委員 斯波唯衣

*** 優勝クラス ***

1 学年	1 年 1 組
2 学年	2 年 2 組
3 学年	3 年 6 組

